

部落差別をはじめあらゆる差別をなくす 第40回熊本県人権教育研究大会

10月15日(土)：益城町総合体育館
16日(日)：郡内の小中学校等

- 大会テーマ 部落差別の現実から深く学び
人間を尊敬し、人と結び、
豊かな関係に高めうる教育の営みへ
- 地元テーマ 心をむすぼう 思いをつなごう
笑顔が 命が かがやく未来を 上益城から

40回目を迎える熊本県人権教育研究大会が、11年ぶりに上益城郡で開催されます。

人権・同和教育が広く根づいてきている今、人権尊重の意識は高まりを見せています。しかし、県内でもさまざまな差別発言等の問題が起こっているように、大会テーマである「部落差別の現実から深く学び 人間を尊敬し、人と結び、豊かな関係に高めうる教育の営み」があらためて求められています。また、潜在的な差別意識が引き起こすさまざまな人権問題は、私たち一人ひとりの課題として考えていかなければ、同じことが繰り返されてしまうこととなります。

本大会では、「子どもや親のくらしに深くかわりながら教育内容を創り出し、差別に立ち向かう子どもを育てる」、「住民相互の主体的学習の展開を保障し、部落差別をはじめあらゆる差別を許さない思想を全県民のものにする」といった目的のもと、数多くの事実や実践の報告も行われます。あらゆる差別をなくす主体的な立場として、町民の皆さまも積極的にご参加ください。

- 主な内容(予定)
10月15日(土) 午後1時～午後4時45分
【全体会】開会行事・地元特別報告・記念講演
会場：益城町総合体育館
- 10月16日(日) 午前9時～午後4時
【分科会】① 就学前からの学びと育ち
② 人権が生きる学校・授業づくり
③ 共に生きる文化をつくる
④ 進路・学力を保障する教育と態勢
⑤ 自主活動と子どもの自立
⑥ 地域からの学びと啓発
⑦ 人権が根づくまちづくり
⑧ 特別部会
会場：郡内の小中学校など18会場
(山都町では、矢部中学校が分科会の会場になっています)
- どなたでも参加できますが、参加券が必要になります。事前に教育委員会までお申し込みいただければ、参加券をお渡します。
- お問い合わせ先 山都町教育委員会 生涯学習課
電話：72-0443



大会要録の表紙絵

季節のうた

▼清和短歌会
息を吐きふるえる指先ボタン押す父の柩は炉におき
唐突に訪ね来りし教え子の節縛し手に涙にじみおき
道問えば耳に手をあて顔寄する翁との意志通じがた
馬見原酔山会
万緑や今鉄橋に阿蘇ボーイ
蜩や洗いの晒しのシャツたたむ
かなかなの声する中の夕餉かな
▼やまなみの会
窓といふ窓明け放ちバンガロー
癒ゆることひたすら信じ青葉径
貸ポート岸に引き上げ出水川
百までは生きると言いし歌友は逝く生き
大津波に耐へし海辺の一本松陸前高田の
詠みつつ黄泉へ
来年は生れて八十八年と生かされ神仏
謝あるのみ
通潤句会
鬼灯に妻の重心にけり
精霊流し結界の水明かり

菅 清次郎
菊池 成河
荒木由紀子
古閑比奈子
山下弘子
市民の支へ
甲斐の歌を
岩崎延枝
赤沢扶光子
今村芳子
高田眞司
畑野フミヨ
高田ゆかり
山本フサ
米田通じがた
山本フサ
米田通じがた

9月の当番医	
9月 4日	矢部広域病院 (電話72-1121)
9月11日	瀬戸病院 (電話75-0111)
9月18日	蘇陽病院 (電話83-1122)
9月25日	高田整形外科 (電話72-1007)

山都町の人口	
〔平成23年7月31日現在〕	
男	8,639人(－4)
女	9,251人(－10)
計	17,890人(－14)
世帯	6,764戸(+15)

※()は前月比
※最高齢は105歳〔女性1人〕
※1月1日～7月31日の出生届数
61人(うち7月は8人)
※1月1日～7月31日の死亡届数
163人(うち7月は21人)

清和文楽がよりわかりやすく

清和文楽館では今、清和文楽を鑑賞される方に解説本を配布しています。解説本は「日高川入相花王」など7冊あり、ストーリーをマンガでわかりやすく解説してあります。

書道

旗亭酒醒秋千里牧
笛風回水一邨

和光教室書道部の矢津田誠子さん(入佐) 作

編集後記

今年も絵本カーニバルは大盛況でした。ボランティアで支える方々の努力には頭が下がります。今回の図書館だより特別版は、町内在住の方にお願ひして作っていただきました。会場の雰囲気が表現された誌面で、担当Fも感動しました。正直、くやしいです。Kさん、本当にお世話になりました。(F)

訂正とお詫び
広報やまと8月号(7月27日発行)において、記事に誤りがありました。関係者のみなさまには大変ご迷惑をおかけしました。お詫びして訂正します。

(27ページ)
「ご寄付いただきました」内
(誤)「尾野尻 佐藤幸 様」→(正)「尾野尻 佐藤 様」